

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		サークルワン勝川		公表日		令和8年 3月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		定員10名で十分なスペースを確保しています		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		個別もしくは少人数制なので10名定員いっぱい一度に利用しないようにしている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			事業所が2階にあり、夜や夕方には暗くなる時があるので足元を照らせる照明を追加で使用しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日清掃、加湿器や空気清浄器を使用して快適な空間を維持しています。適度な音量で音楽を流してリラックスしてもらっています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		利用者が集中して課題など取り組めるように必要に応じてパーテーションで仕切りをしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者と定期的に公式ラインアカウントを活用して連絡を取っています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に会議を開いて状況の把握の共有を行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげていくようにします。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		セミナーや勉強会などには積極的に参加しています。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムはホームページにて公表されています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員全員で支援内容を検討をしています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				

援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			定期的に活動プログラムの立案を打合せ しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			飽きない工夫をして常にステップアップ を目指しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合 わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			個別活動と少人数活動を組み合わせてい ます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる 支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支 援を行っているか。	○			事前に職員間で役割分担を行っていま す。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われ た支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・ 改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの 必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との 会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画してい るか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、 保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整え ているか。	○			近くのくまい医院と関係機関として連携 しています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン 推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所 や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間 で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			必要に応じてケース会議など行っていま す。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との 間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			依頼があれば情報の共有を行っていく予 定です。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等 と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っ ているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言 を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等 へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じて スーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		スーパーバイズや助言を受ける機会を設 けていきたいです。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他 のこどもと活動する機会があるか。	○		地域のお祭りやイベントには積極的に参 加しています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達 の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援 プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加で きる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			今後は家族で参加できる機会を設けてい きたいです。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説 明を行っているか。	○			

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点の踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ラインや電話などで様子など共有しています。必要に応じて家族連携加算を活用して支援をしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会やきょうだい同士交流する機会を今後設けていきたいです。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		公式ラインアカウントを作成して保護者とやり取りをしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きの書庫に収納しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○		配慮が必要な保護者や子どもがいないため。今後必要に応じて対応していきます。
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			1年に一度まちゼミに参加しています。利用対象ではない一般の地域の方々にも気軽に事業所に足を運んでいただけるようイベントを開催しています。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			虐待防止の研修を行っています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			